

平成30年度 第5回 国立市立学校給食センター運営審議会だより

運営審議会会長：小林理人
記録担当：四小 五小
印刷担当：

第5回 国立市立学校給食センター運営審議会

日 時 平成31年2月21日（木）午後2時から午後3時30分まで
場 所 国立市立学校第一給食センター 大会議室
出席委員 17名、欠席委員 1名、傍聴 0名
事務局 5名（吉野所長、外立主査、青木主査、久保栄養士、後藤主任）
議 題 ①事業報告について（資料1-1）
②平成30年度学校給食費収支状況（資料2）
③平成31年度事業計画（資料3）
④給食費の改定について
⑤その他

開会挨拶（小林会長）

議題（1）事業報告について

事務局から〔資料1〕に基づき、平成31年11月29日から2月21日までの事業報告を行う。
以下、主な事業報告である。

＜異物混入について＞

12月7日 12時50分ごろ、第一中学校の職員室よりセンターに連絡あり、謝罪と現物の確認。後日、状況報告書を作成し校長先生宛てに送付。

「原因の特定は出来なかったが、今後はこのような異物混入が起こらないよう、作業を慎重に行います。どうぞよろしくお願いいたします。」

・物資納入業者登録申請の受付を開始し、現在取引のある31業者より申請があり、現在監査事務を行っており、登録決定後、通知を送付予定。

・2月12日、平成30年度4月1日から12月31日分の学校給食費の収支状況の監査を行った。

資料の〔1-2, 3, 4〕について、放射性物質の測定結果と、12月、1月、2月に使用した食材の産地資料及び地場野菜の使用予定日を掲載していると報告。

議題（2）平成30年度学校給食費収支状況について

事務局から〔資料2〕に基づき、収支状況について説明あり。

以下の内容である。

・小学校については、合計で、調定額1億783万2,412円に対して収入額が1億626万1,974円、未収入額が157万438円、支出額1億717万4,344円、喫食者数が延べ46万9,022人だった。

中学校については、合計で、調定額5,128万4,515円に対して収入額が4,974万5,289円、未収入額が153万9,226円、支出額が5,130万3,648円で、喫食者数は18万8,635人だった。

<給食費収支状況についての質問等>

・未収金が多いがどのような対策を取っているのか。

→法的措置は難しいのでより緻密な収納事務を行い収納率をあげていく。

就学援助制度を利用して給食費用を賄うこともできることをアナウンスをしていく。

現年度（平成30年12月31日現在）の収納率については、98.05%である。

・監査は、2月12日火曜日、午前10時から第一給食センター会議室で行い、帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認められた。

議題（3）平成31年度事業計画

事務局から説明あり。

以下の内容である。

・31年度給食センター主要施策は以下の3点である。

① 食の安全安心の確保。

・食材の用達は基本的に国内産、食品添加物・遺伝子組換え、農薬の使用を控えたものを使用し、地場野菜の取入れを推進。

・放射能への対応として、給食センターでの日次測定と検査機関での測定を行い、丁寧な洗浄を励行していく。

・食物アレルギーや食中毒による事故を生じさせないように、アレルギー物質の資料提供を行い、衛生管理の徹底を図っていく。

② 食育の推進。

・献立メモの継続実施。

・可能な限り出前授業を実施していく。

③ 円滑な運営管理の実施。

・給食費の徴収を徹底していく。

・安全管理の徹底に努め施設整備の維持改善していく。

・新給食センターの整備事業について整備基本計画に基づき事業方針の決定と地盤調査等を実施予定。

議題（4）給食費の改定について

事務局から説明あり。

以下の内容である。

・国立市は過去13年間給食費の改定を実施していなかったが、多摩26市では国立市を除く全ての自治体で過去10年以内に一度は改定を行っている。

・給食費1食単価を比較すると国立市は26市の中でも低い水準である。

・改定の要因については①物価（食材費）上昇②消費増税③牛乳代補助金カット④給食基準日増加要望。

・ 現行の給食費単価では充実した献立の作成が困難になりつつあるため、質の維持のために給食費の改定を検討している。(次年度の運営審議会で諮問する方向で調整)

議題(5) その他

質疑応答

- ・ 昨年提供があったビワのアレルギーの対応についてどのようになっているのか。
→ビワはアレルギーの件もあり、高価で給食に不向きな食材なので、今後の提供予定はない。
- ・ 食材の加熱処理について
→ノロウイルス対策で、火を通すものについてはすべて85度、1分以上加熱している。
(卵に関しては半熟での提供はない。)
- ・ 無農薬の食材をどのくらい取り入れているか。
→農薬に関して果物とお米の栽培履歴を確認している。
実際に食材として使うものには残留濃度等農薬の検査をしている。
- ・ 給食センターの職員の衛生管理はどうしているか。
→去年の10月からノロウイルスの検査を給食センター職員対象に3月まで月に1回実施予定。
- ・ 新しい給食センターの進捗について
→PFI導入可能性調査の結果を踏まえて事業方針を決定し、その後、地盤調査を順次進めていく計画になっており、大きな進捗があり次第ご報告。
前回の東大和市学校給食センターの視察をふまえ、衛生管理、アレルギー除去食などを参考にしていく。
- ・ 国立市のこだわりの瓶牛乳を紙パックにすると予算は変わるのか。
→紙パックにすると2円ほど安くはなるが、平成17年度の保護者へのアンケートで85.6%の方が環境問題と食育の観点から瓶が好ましく給食費が若干値上がりしても瓶の継続を希望するとの回答を得た。

閉会挨拶(小林会長)

それでは本日の議題は全て終了しました。次回は6月20日となります。
それでは第5回学校給食センター運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。